

# 摂食及び嚥下に関する基礎研修

Zoom オンライン研修

要介護高齢者において、食事は大きな楽しみの一つです。しかし、口腔機能の低下により、美味しく食事を取ることが難しくなるだけでなく、時には誤嚥を起こすなど、生命におけるリスクを高めてしまうこともあります。

楽しく（美味しく）安全な食事をするためには、食事の本質的な理解のもと、アセスメントから実際の支援に至るまで、摂食・嚥下に関する知識・技術を習得することが必要不可欠です。そこで、食事の意義、摂食及び嚥下、食事介護（姿勢、用具の活用、スプーンテクニック）、アセスメント、支援技術、口腔ケア、口腔機能向上について網羅し、事例等も含めた理解が深まるカリキュラムに致しました。

コロナウィルスの感染が心配される中、少しでも安全な環境で、受講をしていただきたいと思います、今回の研修会を Zoom（オンライン会議システム）にて開催することと致しました。

Zoom（インターネットに繋がるパソコンやスマートフォンがあれば無料でインストールが可能）が繋がる環境であれば、会場にお越しただかなくても受講していただけます。Zoom での受講が難しい場合は、東京にてサテライト会場をご用意いたしました。感染拡大防止の観点から、講師は会場へは参りませんが、受講時間中は Zoom にて直接皆様の質問にお答えいたします。

また、咀嚼やトロミについて参加者ご自身で体感していただくために、「柿の種」と「トロミ剤」を送付いたします。わかりやすい講義動画と会議システムを併用し、オンラインの利点を活かして理解を深めていただきます。

**11/16 9:30~16:30 受講費 11,000円** ネット配信加入者は半額で受講可

講義動画	【食事の意義】・摂食嚥下支援を取り巻く環境 ・食事支援の課題 【摂食嚥下の基本事項】・基本の解剖学 ・摂食嚥下のプロセス
Zoom	【ワーク:咀嚼】※「柿の種」を送付いたします。 講師の説明を受けながら実際に食べて「咀嚼」の理解を深める。
講義動画	【主な誤嚥のリスク要因とその対処法】 ・誤嚥性肺炎の原因 ・食事における誤嚥リスクと環境因子 ・食事中の誤嚥を知る 【食事介護の基本Ⅰ】・摂食具の不具合とその対応（含スプーンテクニック）
Zoom	【食事介護の基本Ⅱ】・姿勢不良とその対応 ・リクライニング位の実技動画 ・食塊形成困難とその対処 ※「トロミ剤」を送付いたします。
講義動画	【摂食嚥下の時期別アセスメントとその対処法】・各種評価方法 【施設でできるスクリーニング検査】・各種評価方法 ・非 VF 系フローチャート 【口腔ケアの重要性とその方法】・口腔ケアの重要性 ・口腔ケアの方法 【事例紹介】・脳卒中 ・重度認知症 ・ダウン症
Zoom	【本日のまとめ】

講師 佐藤 彰紘（作業療法士、目白大学准教授）

山梨大学大学院医学工学総合教育部卒業（医科学修士）。日本摂食嚥下リハビリテーション学会会員。山梨在住時に歯科医師や言語聴覚士、管理栄養士らとともに「摂食嚥下さぼーとやまなし」の発起人として、研修会の企画・実施、近隣施設への訪問指導などを行う。現在は、摂食嚥下リハビリに関する種々研修会で講師を務めるとともに、現場では、「介護スタッフが現場で行える摂食嚥下リハビリ」をモットーに指導を行い、肺炎での入院者数を1/3まで減らすことにも成功している。『(がんばらなくても誤嚥は減らせる) シンプル食サポート』医歯薬出版など著書多数。

問合せ先（主催）：お茶の水ケアサービス学院 事務局 TEL：03-3863-4000

サテライト会場：（東京）お茶の水ケアサービス学院 千代田区岩本町 1-10-3 神田駅より徒歩7分

※事業所やご自宅でZoom参加が難しい方は、東京会場にてZoomに参加していただけます。

申込み FAX 03-3863-4006

受講方法（選択）  Zoom  東京 サテライト会場

お名前	フリガナ	事業所名	ネット配信の加入の有無	有・無
住所	(〒 - ) (事業所・自宅)			
TEL	FAX	e-mail		

※お申し込み後（申込日を1日目とします）、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額がかかります。

また、申込日に拘らず11/2以降のキャンセルについては全額のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。

※キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでご注意ください。